





建替後の建物配置・平面計画に関する提案及び建替えのプロセス（新築、解体、移転等）に関する提案、「学びの中心となる学校図書館（読書・学習・情報センター）の整備」、「快適で温かみのある空間の整備」、「誰もが直感的に分かりやすいアプローチ計画、サイン計画」、「長期的な視点に立った、維持管理のしやすい施設整備」及び「シビックプライドを育む施設整備」それぞれの提案並びに全体事業期間の短縮に関する提案及び全体事業費（イニシャルコスト）の圧縮に関する提案

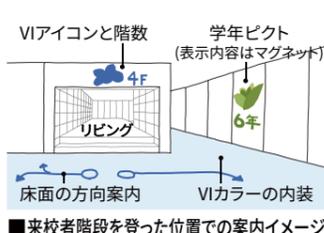
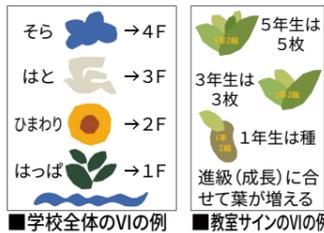
### 07 テーマ3：誰もが直感的に分かりやすいアプローチ計画、サイン計画 一目で分かる校舎内の空間づくり

#### 建築をサイン化した分かりやすい空間構成

- 昇降口正面の吹抜けのメディアホールとその中に設置した階段により、空間構成と動線が明確で分かりやすい校舎とします。
- 2つの階段はデザインテーマを変え、例えば「緑の階段」、「木の階段」など、案内や避難誘導をしやすいとします。
- 来校者を2階職員室に導く階段は、受付(用務)の正面に配置します。職員室入口も階段の隣とし、迷わない最短動線とします。
- 回遊性のある動線計画とすることで、授業参観や行事の際も迷わずに目的の教室に行き着ける計画とします。

#### 『VI』と『ウェイ・ファインディング』のサインデザイン

- サインデザインは、誰もが愛着を抱く『ビジュアル・アイデンティティ(VI)』に基づき、カラーやフォントを検討します。
- 方向案内は、「進むべき方向のつけやすさ(ウェイ・ファインディング)」に配慮してデザインします。



- 廊下の曲がり角や階段を登った先など、来校者が迷いやすい部位に案内を設置します。
- 回遊動線の四つ角の床面に矢印案内を表示し、体の向きと動線の向きが一致した分かりやすい方向指示とします。(案内図より直感的に分かる)
- 言語は、在籍・在住する児童や住民の母語を併記します。
- 色彩は、スマホアプリ等で色覚障がい者でも判別しやすいことを確認して計画します。

### 08 テーマ4：長期的な視点に立った、維持管理のしやすい施設整備 ライフサイクルコストを縮減する施設づくり

#### 外装・構造体の長寿命化

- 80年耐用の長寿命の鉄筋コンクリート造(RC造)校舎とします。
- 改修コストがかさむ防水・屋根は、高耐久のアスファルト防水やガルバリウム鋼板屋根とし、改修サイクルを長期化します。
- 外壁の長寿命化対策として、雨垂れ防止と点検足場の代わりとなるメンテ庇を設けます。仕上げ材は安価な汎用塗料とし、建設費と改修費(材料・仮設足場)を低減します。

#### メンテナンス(清掃・点検・修繕・交換)しやすい仕上・設備

- 建物周囲には足場用空間と低学年コートに作業車両が進入する為の通路を設けます。
- ノンワックスの床材、汚れや臭いの沈着しにくいトイレ壁材など、定期清掃・特殊清掃の頻度・負担を軽減します。
- 予備スペースのある設備シャフトや廊下の天井を張らない設えにより、設備の点検更新性を高めます。
- 植栽は、生育の遅い樹種や落葉の少ない樹種を選定し、維持管理負担を軽減します。



#### 運営がしやすい給食調理場

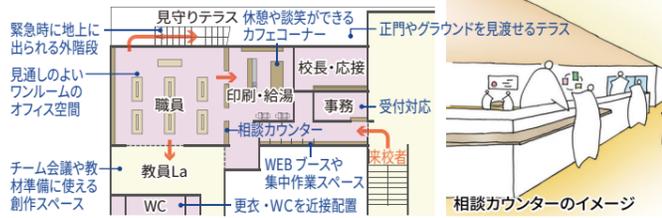
- 調理場は、学校とゾーン・動線・設備ルート・設置場所を分離し、学校活動に影響されない独立運営と維持管理が可能です。
- 設備機器は屋上に設置し、配送ヤードからのクレーン揚重ができ、点検や更新がしやすい計画とします。
- マシンハッチを設け、調理機器の入替えを容易にします。

長期的な視点に立った、給食調理場の主な維持管理配慮事項		
日常点検しやすい	負担の少ない清掃・修繕	高耐久かつ更新しやすい
<ul style="list-style-type: none"> <li>全面ピット(有効1.8m)</li> <li>屋上に設備機器を集約</li> <li>建物全周に点検スペース</li> <li>排水処理施設の地下埋設</li> <li>室出入口付近にバルブ</li> <li>配管の系統別色分け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライシステムの採用</li> <li>無柱空間の調理室(S造)</li> <li>部分修繕可能な塗床仕上</li> <li>腰壁ステンレス板ガード</li> <li>不具合自動検知調理機器</li> <li>分解清掃可能な機器仕様</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理機器用マシンハッチ</li> <li>外部に面した室配置</li> <li>天井機高さ1.5m確保</li> <li>長寿命な外装(ALC板)</li> <li>無機繊維脱臭フィルター</li> <li>半たわみ性舗装の車路</li> </ul>

### 09 特に重視した計画・設計上の配慮事項 | テーマ2：快適で温かみのある空間の整備 安全・安心の学校づくり

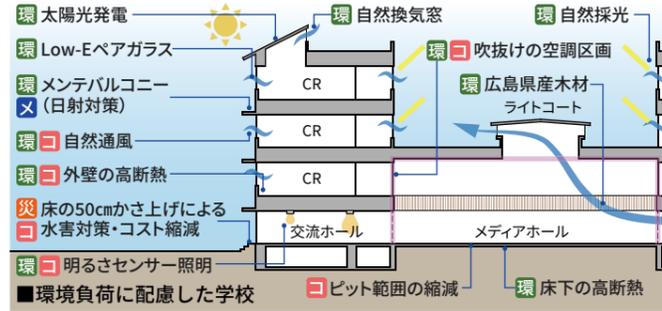
#### 働きやすい教職員 commons

- 職員室と打合せや教材スペースを一体化した教職員 commons を整備し、クラス間・学年間の教員の連携や情報共有を図ります。
- 職員室は児童・保護者が相談しやすいカウンター式とします。
- グラウンド(メイン・サブ)と正門への見通しを確保し、緊急時に直ちに地上に出られる外部階段を設けます。



#### 環境にやさしいエコ・スクール(学校のZEB Ready実績あり)

- 庇等による日射遮蔽や外装の高断熱化により、空調の省エネを推進し、また、温熱環境を安定し、体への負担を軽減します。
- ライトコートやリビング等からの自然採光・自然通風を取り入れ、省エネ・快適・感染予防に配慮した学校環境とします。
- クラスルームや本のある空間を木質化した温かい内装とします。
- 環境技術の仕組みを見える化し、エコ教材となる校舎とします。

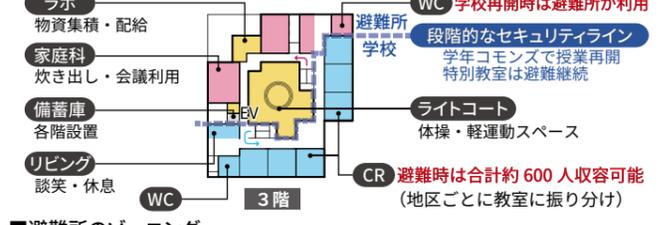


#### 防災性・防犯性の高い施設づくり

- バランスのよいラーメン構造の計画とし、天井落下防止や設備転倒防止を図り、校舎の耐震性を高めます。
- 地震等でインフラが断絶した際のバックアップを講じます。
- 特別教室の地域開放を行う場合は、学年 commons への立ち入りを制限できる明確なセキュリティラインを設けます。

#### 避難所機能の確保と教育機能の継続の両立

- 水害発生緊急時に2階に直接避難できる階段を設けます。
- 職員室を2階に設置し、学校再開に必要な場所・資料・情報を水害から守り、学校機能の継続性を高めます。
- 段階的なセキュリティライン(地域開放と同じ)を設定し、時間の経過とともに学校再開と避難所縮小がしやすい計画とします。
- ユニバーサルデザインを取り入れ、災害弱者に配慮します。



### 10 全体事業期間(計画、設計及び施工)の短縮 | 全体事業費(計画、設計及び施工等その他関連するイニシャルコスト)の圧縮 複数パターンの建替え手順の比較により、最適な方式を選定

#### 仮設校舎なしの建替え計画

- 仮設校舎や北側高低差部分の擁壁改造\*が不要な計画として、事業費と工期を圧縮します。\*安全対策が必要な場合を除く
- 将来の体育館建替えにおいても、仮設体育館が不要な計画とし、改築の全てのライフサイクルコストの低減を図ります。

#### 新校舎供用開始の前倒しとゆとりある引越しの実現

- 設計期間を細分化することで、目標の明確化と効率化を図り、設計工期を4ヶ月短縮します。\*様式11の1枚目を参照
- 建物の構造や工法検討により、工事工期を5.5ヶ月短縮します。
- 発注準備・引越し期間を十分確保し、新校舎完成は7ヶ月前倒しし、負担の少ない夏休みでの引越しを可能にします。また、給食調理場の開業前の準備・研修期間を確保します。

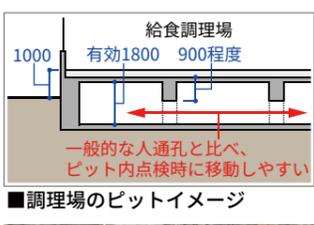
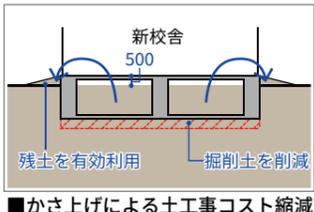
#### 鉄骨造の給食調理場によるコスト・工期縮減

- 調理場は、鉄骨造や金属屋根など軽量化を図ることで、地盤改良を採用し、コストを縮減します。
- 短工期の鉄骨造は、校舎のRC工事完了後に鉄骨建て方が可能なため、RC工事で広い施工ヤードを確保でき、現場作業効率が向上します。



#### 土工事・構造体工事の工夫

- 校舎の1階を地面から50cmかさ上げし\*、土の掘削量の縮減による工期短縮・残土処分費の縮減を図るとともに、低い深さの浸水を防止します。\*緩やかな擦り付けとし、外部との段差がない設計とする。
- 校舎の配管ピット範囲を縮小し、土工事を減らします。
- 調理場の基礎梁は、外周部を除き高さ90cm程度とし、コンクリートと鉄筋量を減らし、コスト縮減するとともに、配管ピット内の横移動がしやすく、メンテ性の高い断面計画とします。
- スラブ工事では、フラットデッキ型枠や鉄筋一体デッキ型枠を検討し、職人不足の型枠工事・鉄筋工事の遅延防止や静音工事に対応します。



#### 汎用技術によるコストパフォーマンスの良いZEB Ready実現

- 空調の省エネでは、日射負荷や換気による空調ロスを十分に低減し、過剰な断熱厚さやガラス種類に頼らない設計とします。
- 設備機器は、汎用的な高効率パッケージ空調や安価なセンサー照明(人感・明るさ)などによるエネルギー効率化を図ります。

年度 月	令和6年度			令和7年度			令和8年度			令和9年度			令和10年度			令和11年度			令和12年度					
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
基本構想	基本計画 基本設計7ヶ月 実施設計17ヶ月 新校舎工事23ヶ月 解体工事・外構整備																							
A 案 本館仮設	基本計画 基本設計7ヶ月 実施設計17ヶ月 仮設校舎設計 申請 仮設校舎建設 引越 160,000千円 3,115,000千円 4ヶ月 130,000千円 総工事費 40.1億円																							
B 案 新館仮設	基本計画 基本設計7ヶ月 実施設計17ヶ月 仮設校舎設計 申請 仮設校舎建設 引越 70,000千円 3,090,000千円 5ヶ月オーバー 160,000千円 130,000千円 総工事費 36.7億円																							
C 案 仮設無し 給食一体型	基本計画 基本設計7ヶ月 実施設計13ヶ月 発注 新校舎建設21ヶ月 引越 既存校舎解体6ヶ月 外構整備6ヶ月 230,000千円 130,000千円 3ヶ月前倒し 総工事費 34.6億円																							
D 案 仮設無し 給食分離型	基本計画 基本設計7ヶ月 実施設計13ヶ月 発注 新校舎建設17.5ヶ月 引越 既存校舎解体6ヶ月 外構整備6ヶ月 230,000千円 130,000千円 7ヶ月前倒し 総工事費 34.5億円																							